

高品質がテーマです。

ICOM

取扱説明書

携帯型デジタル簡易無線機

IC-DU55C

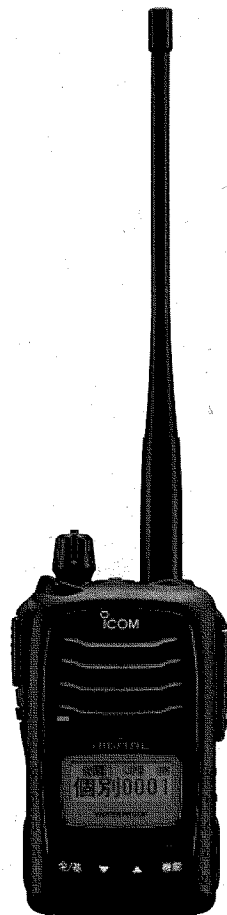
この無線機を使用するためには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。

A-6693H-1J-①
Printed in Japan
© 2008-2009 Icom Inc.

この印刷物は環境にやさしい再生紙と植物性インクを使用しています。

株式会社イコム 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 1Kビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

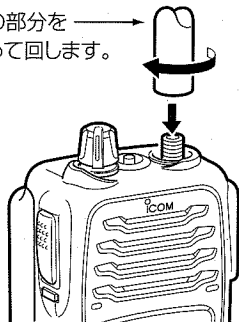
Icom Inc.



■ 付属品の取り付け

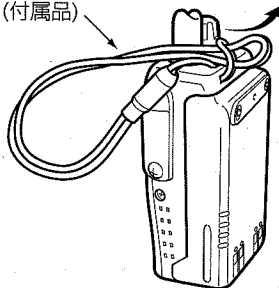
【アンテナ】

この部分を
持って回します。



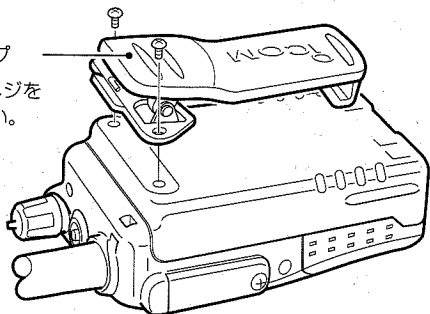
【ハンドストラップ】

ハンドストラップ
(付属品)



■ ベルトクリップの取り付け (別売品:MB-98の場合)

ベルトクリップ
必ず付属のネジを
お使いください。



※ベルトクリップは、タイプ(☞P26)によって、使用できるネジの長さが異なります。

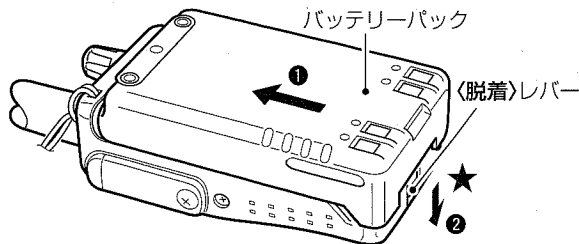
取り付けるときは、お使いのベルトクリップに付属するネジ以外のものを使用しないでください。

■ バッテリーパックの取り付け(別売品)

バッテリーパックを本体に密着させながら、「カチッ」と音がするまで[①]の方向にスライドさせます。

※取り付けたとき、バッテリーパックが無線機底面にある<脱着>レバーでロックされていることを確認してください。

★取りはずすときは、<脱着>レバーを[②]の方向に押し下げるとロックがはずれます。



⚠ 警告

本製品やバッテリーパックが濡れたり汚れた状態で、充電しないでください。

本製品やバッテリーパック、または充電器の各端子が錆びたりして、故障の原因になります。

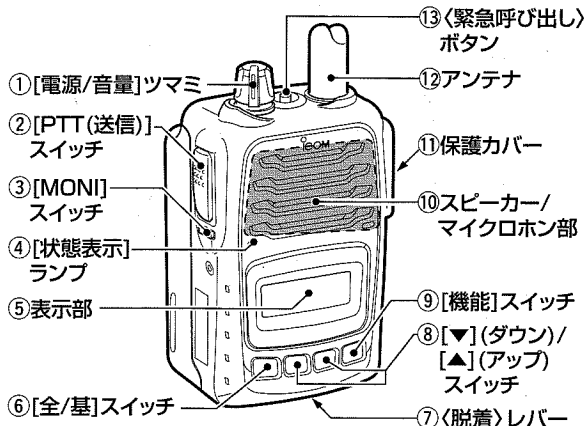
※充電方法については、6章(☞P29~P33)をご覧ください。

⚠ 注意

バッテリーパックを取りはずすときは、次のことを守らないと、指や爪を傷めるおそれがあります。

バッテリーパックを取りはずすとき、<脱着>レバーの操作は、バッテリーパックを[①]の方向に軽く押し込んで、<脱着>レバーが軽く動く状態になってから、[②]の方向に操作してくだ

■ 前面部



- ① [電源/音量]ツマミ (※P7)
●ツマミを時計回りに回すと、電源が「ON」になります。
●電源を「OFF」にするときは、「カチッ」と音がするまで逆方向に回します。
●ツマミを回すと、音量(0～32)を調整できます。

- ② [PTT]スイッチ (※P12)
送信するときは、[PTT]スイッチを押しながら通話します。
[PTT]スイッチをはなすと、受信に切り替わります。

[電源/音量]ツマミ(電源をONにした時は点灯)、[PTT]スイッチ以外の操作をしたとき、表示部の照明が約1秒間点灯します。

- ③ [MONI]スイッチ (※P18)
モニター機能が設定されている場合、押しているあいだモニター機能が動作します。
※通常は使用しませんが、他局が呼び出し機能が受信するのを受信したり、交信相手局の信号が弱かったり、途切れたりして聞こえにくいときや、ノイズを聞きながら音量調整するときは、「ON」にします。

- ④ [状態表示]ランプ
交信の状態を示します。

- 赤色点灯: 送信中
- 緑色点灯: 信号を受信中
- 橙色点滅: 着信表示を「ON」に設定しているときに、着信があった場合

- ⑤ 表示部 (※P5、P6)
運用状態を表示します。

- ⑥ [全/基]スイッチ (※P11)
押すごとに、「全体」→「基地」→「個別」の順番に呼び出せる局を切り替えます。
※個別呼び出し機能が設定されていない場合やデジタルトーンスケルチが設定されている場合は、スイッチ操作は無効になります。

- ⑦ [脱着]レバー (※P2)
バッテリーパック(別売品)の取り付けや取りはずしをします。

- ⑧ [▼](ダウン)/[▲](アップ)スイッチ
●押すごとにチャンネルが切り替わります。
●セットモード時は押すごとに設定値が切り替わります。
※個別呼び出し機能が設定されている場合は、[機能]スイッチや[全/基]スイッチを

- 切り替わります。
(※P9～P11)

- ⑨ [機能]スイッチ (※P9)
短く押すごとに、「通話チャンネル番号」→「個別(相手局)番号」*の順番に表示が切り替わります。
※長く押すごとに、ロック機能 (※P18)を「ON」/「OFF」できます。

★個別呼び出し機能が設定されていない場合、「個別(相手局)番号」は、表示しません。

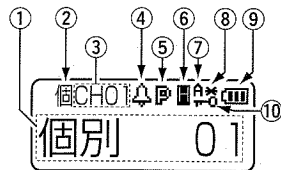
- ⑩ スピーカー/マイクロホン部
超小型のスピーカーとマイクロホン内蔵しています。
別売品のスピーカーマイクやヘッドセットなどを接続するときは機能しません。

- ⑪ 保護カバー (※P37)
別売品のスピーカーマイクやヘッドセットなどを接続するコネクタを保護します。
保護カバーをはずすと、接続できます。

- ⑫ アンテナ (※P1)
電波を発射、または受信する部分です。

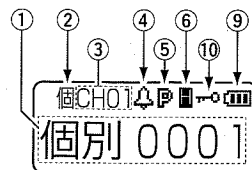
- ⑬ [緊急呼び出し]ボタン
緊急呼び出し機能 (※P16)が動作します。

■ 表示部



アナログモードの表示

(個別呼び出しが2桁仕様の表示)



デジタルモードの表示

① [相手局番号/設定内容]表示

設定により、通話チャンネル番号、個別(相手局)番号を表示します。

また、[電源/音量]ツマミを回すと、音量(0~32)を表示します。

※通話チャンネル番号表示の代わりとして設定されている漢字(例: 防災01)やアルファベットを表示します。

また、呼び出し[個別番号(個別)/基地局番号(基地)/全体呼び出し(全体)]の選択状態を表示します。

② モード表示

●運用中の[個](個別)/[全](全体)/[基](基地)/[グ](グループ)の各モードを表示します。

●グループメンバー時は[メ]が白黒反転表示します(デジタルモードのみ)。

③ ガイドメッセージ表示

●通話チャンネルが漢字やアルファベット表示(①の部分)に設定されているとき点灯します。

●セットモード時に「SET」が、ショートメッセージ選択画面時に「メッセージ」が点灯します。

●秘話設定時は[CH]が白黒反転表示します(デジタルモードのみ)。

④ ♪(ベル)(※P13、19)

●個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。(※P13)

●ポケットビープ機能(※P19)が設定されているとき点灯します。

⑤ [P](Pベル機能)(※P18)

Pベル機能を「ON」に設定したとき表示します。

⑥ [H/L](送信出力)(※P19)

各通話チャンネルの送信出力設定(High/Low)を表示します。

[H]:ハイパワー(5W)選択時に点灯。

[L]:ローパワー(1W)選択時に点灯。

⑨ [電池残量](※P27)

4段階で表示します。

●[電池残量]:十分に容量があります。

●[電池残量]:電池が多少消耗していますが、運用できます。

●[電池残量]:短時間であれば運用できます。

●[電池残量]:すぐに使えなくなりま(点滅)すので、電池の交換、充電が必要です。

⑦ [A](アナログモード)

(※P20)

アナログモード選択時に点灯します。

⑧ ✖(コンパング機能)

設定されているとき点灯します。アナログモード選択時のみ点灯します。

⑩ [ロック機能]

(※P18)

「ON」に設定したとき点灯します。

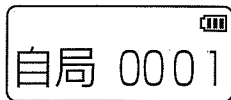
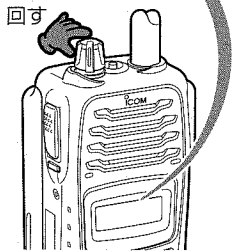
1 電源を入れる

【電源/音量】ツマミを時計回りに回して電源を入れます。

【電源/音量】ツマミを逆方向に「カチッ」と鳴るまで回すと、電源が切れます。

電源を入れると、ピーブ音が「ピー」と鳴って、起動コメントを表示します(設定時のみ)。

※個別呼び出し機能が設定されている場合は、自局番号を表示します。



例:自局番号表示

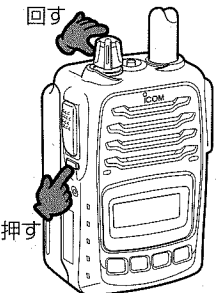
個別呼び出しは、パワーセーブをOFFにしてから使用してください。
※パワーセーブの設定は販売店にご依頼ください。

2 音量を調整する

相手局の音声が大きすぎたり、小さすぎたりしたときは、【電源/音量】ツマミを回して聞きやすい音量に調整します。

モニター機能が設定されている場合、何も音が出ていない状態での音量調整は、【MONI】スイッチを押して「ザー」という雑音を出し、この雑音を聞いて調整します。

調整後は、【MONI】スイッチをはずします。



3 相手局を選択する

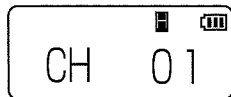
個別呼び出し機能で相手局を呼び出すときは、あらかじめ「通話チャンネル番号」と「個別(相手局)番号」を選択します。

Step1.通話チャンネル番号の選択

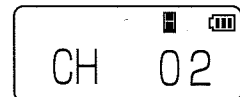
通話チャンネル番号とは、交信する周波数のことです。交信する全局は、同一チャンネルに設定します。

●「チャンネル」表示から選択する場合

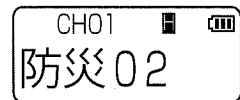
- ① [▼]/[▲]スイッチを短く押しごとに、チャンネルがダウン/アップします。



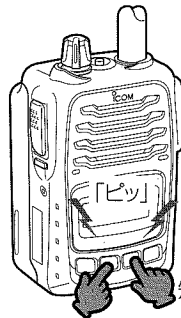
[通話チャンネル番号]表示



2チャンネルを選択したとき



例:漢字表示



3 相手局を選択する(つづき)

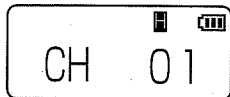
Step1. 通話チャンネル番号の選択(つづき)

●「全体」/「基地」/「個別」表示から選択する場合

下記の表示(※P10)から通話チャンネル番号を選択する操作です。

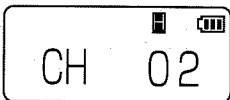


- ① [機能]スイッチを短く押します。
●「通話チャンネル」を表示します。

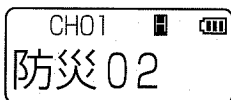


[通話チャンネル番号]表示

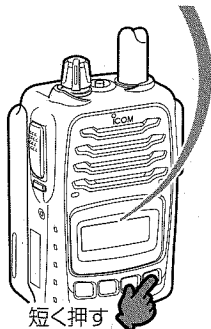
- ② [▼]/[▲]スイッチを押して、「通話チャンネル番号」を選択します。



2チャンネルを選択したとき



例:漢字表示



※[機能]スイッチを短く押すごとに、「通話チャンネル」表示と「個別(相手局)番号」表示が切り替わります。

3 相手局を選択する(つづき)

Step2. 「全体」/「基地局番号」/「個別番号」表示の選択
(相手局番号の表示について)

次の4種類があり、呼び出す相手を指定(個別呼び出し機能を使用)するときの番号を表示します。

全体呼び出し(全体)→→→→→→→→
一斉に全局を呼び出す。



基地局呼び出し

(出荷時の設定:基地 0099)→→→→→
「0001」～「9999」のうち基地局に指定された1局を呼び出す。

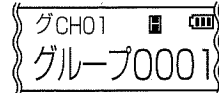


個別呼び出し

(出荷時の設定:個別 0001)→→→→→
「0001」～「9999」のうち選択された1局を呼び出す。



グループ呼び出し→→→→→→→→→→→
あらかじめ設定されたID(0001～9999)と一致する相手局を一斉に呼び出す。



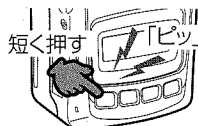
※IDの設定変更については、販売店にご依頼ください。

3 相手局を選択する(つづき)

Step2.「全体」/「基地局番号」/「個別番号」表示の選択(つづき)

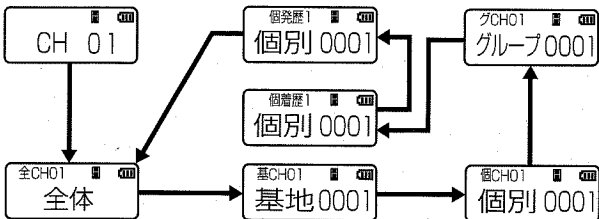
【全/基】スイッチを短く押すごとに、「全体呼び出し(全体)」→「基地局呼び出し」→「個別(グループ)呼び出し」→「着信履歴」→「発信履歴」の順番に切り替わります。

※「全体」/「基地局番号」表示を選択したときは、「4 呼び出しをする」(※P12)の操作に進みます。



《表示の流れ》

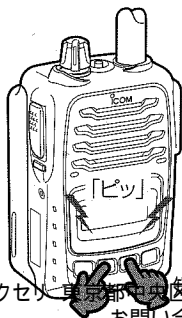
※「着信履歴」、「発信履歴」はデジタルモードの機能でアナログモードにはありません。



Step3.「個別番号」の選択

【▼】/【▲】スイッチを押します。

※Step2.の「全体」/「基地局番号」表示の状態(※P10、P11)でも、【▼】/【▲】スイッチを押すと個別番号が選択できます。



株式会社エクセル 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F 緑色(政府)無線局 淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

4 呼び出しをする

【ご注意】

ほかに通信する無線局がないことを確認(【状態表示】ランプが緑色に点灯していないなど)してから呼び出してください。

【PTT】スイッチを押すと、【状態表示】ランプが赤色に点灯します。【PTT】スイッチを押しながら、マイク部に向かって「こちらは××局です。〇〇さんどうぞ。」と呼びかけたら、【PTT】スイッチをはなします。



【ご参考に】

【PTT】スイッチを押したとき、「ビッ」という音が鳴るときは、個別呼び出し機能、またはデジタルトーンスケルチ機能が設定されています。

「ビッ」という音が鳴るときは、個別呼び出し機能が設定されていません。

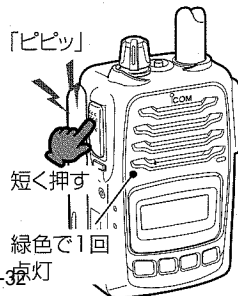
■ アンサーバック機能

(※アナログモードの「3桁設定(呼出コード)」、「デジタルトーンスケルチ」以外に該当)


個別呼び出し機能が設定された無線機は、アンサーバック機能が設定されていると、相手局が通信圏内にあるかどうかを確認できます。

確認するときは、信号を受信していない状態で【PTT】スイッチを短く押します。

相手局が通話圏内の場合、ビープ音が1回だけ「ビッ」(【状態表示】ランプ



5 呼び出しを受ける

個別呼び出しを受けたときだけ、 (ベル)表示、相手局の個別番号、「個着信」が点滅します。

その状態で【PTT】スイッチを押しながら、マイク部に向かって

『こちらは〇〇局です。』

××さんどうぞ。』

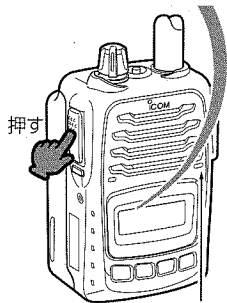
と応答します。



相手局の番号を表示

【PTT】スイッチから手をはなしたあと、【全/基】スイッチを押すと、点滅が停止して【▼】/【▲】スイッチを操作できます。


※アナログ3桁設定時の「-」表示は、個別呼び出しを意味します。



押す

マイク部

■ ポケットビープ

 (ベル)が表示されている無線機で動作します。呼び出しを受けたとき、ビープ音でお知らせする機能です。いずれかのスイッチを操作すると、停止できます。


※相手局から「全体呼び出し(全体)」、または「グループ呼び出し」を受けたときは、鳴りません。

■ 着信表示

「着信表示」が設定されていると、個別呼び出しを受けたときだけ、【状態表示】ランプが橙色に点滅します。

【MONI】または【全/基】株式会社を押し、東京都中央区本町橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32

6 交信する

相手局から呼び出しを受けた状態()から、送信と受信を交互に繰り返すと、交信できます。

※双方同時に送信しても、交信できません。

※送信の終わりに『どうぞ』と言葉を添えると、スムーズに交信できます。

手をはなすと、受信します

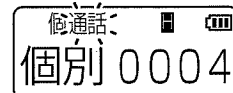


マイクホン

交信中は、「通話」表示を点滅します。

再度相手局を呼び出すときは、呼び出しをする前の表示に戻ってから【PTT】スイッチを押します。

※送信中は音量を変更できません。



個別呼び出しで交信中

■ 正しい通話方法

次の要領で通話をしてください。用件は簡潔に話し、長い通話はさけてください。

【呼び出しをするとき】	【応答をするとき】
「相手局の呼び出し名称」: 3回以下	3回以下
「こちらは」: 1回	1回
「自局の呼び出し名称」: 3回以下	1回
「どうぞ」: 1回	1回

■ 交信時のアドバイス

1. マイクロホンの使いかた

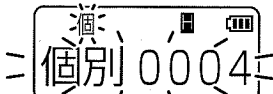
- マイクロホンに向かって話すときは、マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなる場合がありますのでご注意ください。
- [PTT]スイッチを押すと、「ピッ」、または「ピピッ」という音が鳴ります。
そのあとマイクロホンに向かって話してください。

2. 個別呼び出しについて

個別呼び出しをするときは、「通話チャンネル番号」(≒P8)と「個別番号」(≒P11)を相手局と同じにしてください。

3. 相手局から応答がないときは

相手が無線機からはなれている場合や、電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、相手局番号の点滅表示が消えてから、[PTT]スイッチを押しなおすと、何回でも基地局、または個別呼び出しができます。



個別呼び出しをしたとき

4. 交信する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して交信してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品や、パソコンおよび電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれて使用してください。

株式会社イコセ、東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビ
株主会事務局 設定は販売店にご依頼ください。西区中島6-3-32

お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、通話チャンネルが一致する局に、緊急信号を送出して相手に警告音でお知らせします。

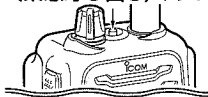
個別呼び出しがON時に〈緊急呼び出し〉ボタンを押すつづけると、緊急呼び出し機能が動作するまでのカウントダウンがスタートし、ゼロになると緊急呼び出し機能が動作します。

※設定は販売店にご依頼ください。

緊急呼び出し、および個別呼び出しは、パワーセーブをOFFにしてから使用してください。

※パワーセーブの設定は販売店にご依頼ください。

〈緊急呼び出し〉ボタン



※個別呼び出し機能と緊急呼び出し機能の両方が送信側と受信側に設定されていない無線機は、相手局を呼び出しできません。

※あらかじめ設定されたIDと一致する相手局にだけ、緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しやその呼び出しを受けているあいだは、[MONI]スイッチ以外は操作できません。

※下記のような環境や本製品の設定状況では、通知できなかったり、通知しても警告音が鳴らない場合があります。

- ◎警告音が音量調整と連動して変化する場合
- ◎警告音を鳴らさない設定がされている場合
- ◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

△ 警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能が有効に設定する場合は、警告音の音量と[電源/音量]ツマミを連動するように設定されることをおすすめします。

【呼び出しのしかた】

下記の操作をする前に、相手と同じ[通話チャンネル]が選択(※P8~P11)されていることを確認してください。

① (緊急呼び出し) ボタンを長く

(数秒以上)押しします。

●警告音が「ビビビ…」と鳴って、一定の間隔ごとに[状態表示]ランプが赤色に点灯します。

また、「緊急」表示が点滅します。

② その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。

●応答があると、警告音が停止して、[状態表示]ランプが緑色に点灯します。

③ 交信をつづけます。

●終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



【呼び出しを受けたときは】

① 警告音が「ビビビ…」と鳴って、[状態表示]ランプが赤色に点滅します。

また、「緊急(相手局番号)」表示が点滅します。

② [PTT]スイッチを押して、応答します。

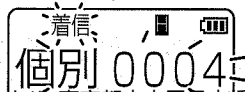
●警告音が停止します。

③ 交信をつづけます。

●終話すると、「緊急(相手局番号)」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。



↑交互に表示




株式会社エスケール 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
(個別0004) 携帯電話総合ダイヤル 0120-880-200

■ ロック機能

不用意に[全/基]スイッチや[機能]スイッチ、[電源/音量]ツマミにふれても、個別番号や表示が変わらないようにする機能です。

それ以外のスイッチは操作できます。

[機能]スイッチを長く押すと「ビビッ」と鳴って、表示部に「」が点灯します。

同じ操作をすると、ロック機能を解除します。

■ モニター機能

スケルチを一時的に開く機能です。

受信信号の強度が弱いときなどに使用すると便利です。

[MONI]スイッチを押すと、モニター機能が有効になります。

[MONI]スイッチをはなすと、モニター機能を解除します。

※設定により、動作が異なる場合があります。

※設定は販売店にご依頼ください。

■ Pベル機能

呼び出し音を鳴らしたくないときに便利な機能です。

Pベル機能をONにすると、全体呼び出し、グループ呼び出し、個別呼び出しのいずれの着信があった場合でも、スケルチを閉じます。


Pベル機能がONに設定されているときは、表示部に「P」が点灯します。

[PTT]スイッチを押すと、スケルチが開き、音が聞こえます。

※設定は販売店にご依頼ください。

■ ポケットビープ機能

着信したとき、ビープ音を鳴らして着信を知らせる機能です。



待ち受け状態ではベルマーク「」を点灯します。

着信があると、ポケットビープを鳴らし、ベルマークが点滅します。

※設定は販売店にご依頼ください。

■ 送信出力切り替え

[全/基]スイッチを長く(約1秒)押すごとに、送信出力をハイパワー(5W)、ローパワー(1W)を切り替えます。

ハイパワー選択時は「」が、ローパワー選択時は「」が点灯します。

※設定は販売店にご依頼ください。

■ デジタルモードとアナログモードについて


本機はデジタルモードとアナログモードがあります。

◎**デジタルモード**は、クリアな音質で通信できるモードです。

また、ショートメッセージ(SMS)(P21)を送信できます。

◎**アナログモード**は、弊社製の業務用無線機(IC-UH35CTM、IC-UH37CTM)と交信できます。

従来のシステムと併用する場合に有効なモードです。

アナログモード選択時は表示部に「」が点灯します。

本機は用途に合わせてデジタルモード専用、アナログモード専用、デジタル/アナログ混在モードに設定できます。

設定は、販売店にご依頼ください。

下表は各モードの個別呼び出しの比較表です。

モード	アナログ(2桁)	アナログ(3桁)	デジタル
個別番号桁数	2桁	3桁	4桁
発信者名表示	個別着信時、発信者名表示	なし	個別着信時、発信者名表示 全体/グループ着信時は、全体/グループ名と発信者を交互表示
グループ識別	ワイルドカード	ワイルドカード	グループID
複数グループに参加	不可	不可	可
不在着信時の着信保持	可	不可	可
アンサーバック	可	不可	可
レイトエントリー*	不可	不可	可

*選択呼び出し付きの送信信号を途中からでも受信、選択傍受できる機能。

■ ショートメッセージ機能 (デジタルモードのみ)

デジタルモードでは、ショートメッセージを送信できます。

ショートメッセージ送信が設定されていると、[PTT]スイッチを押して送信することにより、設定されたショートメッセージを送信します。

※設定は販売店にご依頼ください。

※操作のしかたは販売店にお問い合わせください。

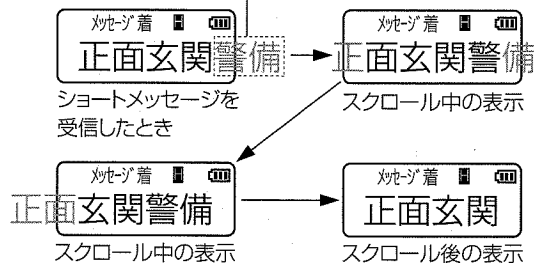
※受信側では、受信したメッセージをスクロール表示します。

※[▼]、[▲]、[機能]スイッチを押すと、受信したメッセージを再度スクロール表示します。

※[全/基]スイッチを押すと、メッセージ表示を解除します。

(例)「正面玄関警備」のメッセージを受信したとき

未表示部はスクロールして表示



お好みの運用状況に応じて、設定項目を「セットモード」から変更できます。

【ご注意】設定により、設定できる項目が異なる場合があります。

■ 「セットモード」に移行するには

①[電源/音量]ツマミを反時計回りに回して、本製品の電源を切ります。

②[機能]スイッチを押しながら、[電源/音量]ツマミを回して、電源を入れます。

MODE CHG

表示部に「MODE CHG」と表示されます。

「MODE CHG」を表示

③押ししている[機能]スイッチから指をはなして、[機能]スイッチを短く押しなおします。

●ピープ音が「ピピッ」と鳴って、「SET」を表示したあと、設定項目を表示します。

SET
SET

④項目の選択は、[全/基]または[機能]スイッチを短く押すことにより、下記の項目が切り替わります。

セットモードへ移行時

※項目は設定により異なる場合があります。

①Pベル ②スケルチ*1 ③マイクゲイン

④発着信履歴消去*2

*1アナログモードのみ表示

*2「呼び出し設定」がONの場合のみ表示

⑤設定内容の変更は、[▼]/[▲]スイッチを押します。

⑥[PTT]スイッチを押すと、変更内容を確定して、「セットモード」を解除します。

※ほかの設定項目に移動(手順④)後、電源を切った場合も、設定内容を確定して「セットモード」が解除されます。

※「セットモード」を解除するまで通話できません。

※電源を入れなおしてから通話を確認してください。

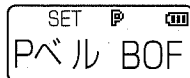
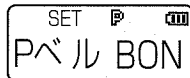
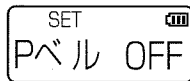
■ 設定項目について

① Pベル機能の設定(出荷時の設定:OFF)

Pベル機能を設定します。

Pベル機能を使用すると、呼び出し(全体/個別/グループ)を受けたとき、応答するまで相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

- OFF : 着信と同時に、相手の音声は聞こえる
- BON : 応答するまで相手の音声をミュートし、音声のミュートと同時に、呼び出しを受けたことをブザー(ピー音、3回)で知らせる
- BOF : 応答するまで相手の音声をミュートし、ブザーを鳴らさない



【BON、BOFに設定した場合】

※無線機の表示部には、**P**を表示します。

※お買上げ時、ブザー出力が「BON」に設定されている無線機は、音声のミュートと同時に、呼び出しを受けたことをブザー(ピー音、3回)でお知らせします。

ポケットビープが設定されている無線機は、このブザーが鳴ったあと、つづけて鳴ります。

また、ブザー出力が「BOF」に設定されている無線機は、ブザー、ポケットビープの両方とも鳴りません。

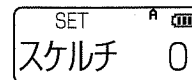
② スケルチレベルの設定(出荷時の設定:10)

＜アナログモードのみ設定できます＞

スケルチレベルを設定します。

受信する相手局の信号レベルに応じて、スケルチレベルを調整できます。

- 選択範囲:0(浅い)～64(深い)



③ マイクゲインの設定(出荷時の設定:MID)

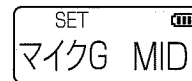
マイクゲインを設定します。

- LOW : マイクゲインを低にする
- MID : マイクゲインを中にする
- HI : マイクゲインを高にする

【ご参考】

※マイクゲインをLOWにすると、回りの雑音など、小さな音を抑えることができます。

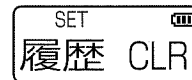
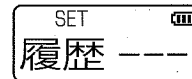
※マイクゲインをHIにすると、小さな声でも通話できますが、回りの雑音や騒音なども相手に聞こえることがあります。



④ 発着信履歴消去設定(出荷時の設定:---)

個別番号設定を変更したとき、この機能で発着信履歴を削除してください。

- --- : 何もしない
- CLR : 履歴を削除する



【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

[★]印のものは、無線機本体に装着することで、JIS保護等級7(防浸形)保証の防水性能に適合します。

バッテリー関係

- BP-220N★ :リチウムイオンバッテリーパックL
- BP-246★ :リチウムイオンバッテリーパックS
- BP-221 :アルカリ電池ケース(単3形アルカリ電池×5本)

充電する

- BC-161 :卓上急速充電器
※電源には、BC-165(別売品)が必要です
- BC-165 :ACアダプター(BC-161用の電源)
- BC-121NA :6連急速充電器
※電源には、BC-157S/OPC-656(別売品)が必要です。
- BC-157S :ACアダプター(BC-121NA用)
- OPC-656 :DC電源ケーブル(BC-121NA用)

スピーカー・マイク関係

- EM-80 :スピーカーマイク
- HM-183SJ★ :防水形スピーカーマイク
- HM-159F★ :防水形スピーカーマイク
- HM-186SJ :小型スピーカーマイク

スピーカー関係

- EH-11 :イヤークリップ型スピーカー(プラグ:2.5φ)
- EH-12 :ヘルメット取り付け型スピーカー(プラグ:2.5φ)

無線機を保護する

- LC-153 :ハードケースS(BP-246用)
※LC-164は、装着した状態でスイッチ操作と充電(BC-161)ができます。
- LC-154 :ハードケースL(BP-220N/221用)
※LC-166は、装着した状態でスイッチ操作と充電(BC-161)ができます。

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-104 :単一指向性タイピン型マイクロホン
※HM-104A(無指向性タイピン型マイクロホン)
- HM-109 :接話タイピン型マイクロホン
※HM-163(HM-109のコネクター部分だけが防水仕様)
- HS-86 :ヘルメット取り付け型ヘッドセット
- HS-88 :ヘッドセット
- HS-92 :ヘルメット取り付け型ヘッドセット(ワニ口で固定)
- HS-99 :耳掛け式イヤホンマイク
※VOXユニット(VS-2SJ)と併せてご用意ください。
- VS-2SJ :VOXユニット(HS-99別売)
※JIS保護等級4(防まつ形)相当の防水性能
※耳掛け式イヤホンマイク(HS-99)と併せてご用意ください。
- OPC-636 :マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル(ロック仕様)
※OPC-636A(防塵仕様)
- OPC-637 :マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル(アンロック仕様)

株式会社エクスセル 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32

お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ 別売品一覧表(つづき)

イヤホン関係

- EH-13 :耳掛け型イヤホン(プラグ:2.5φ)
- EH-14 :オープンエア型イヤホン(プラグ:2.5φ)
- EH-15 :イヤホン(プラグ:2.5φ)
※EH-15B(黒色)
- SP-28 :耳掛け型イヤホン(プラグ:2.5φ)
- SP-16 :耳掛け型イヤホン(プラグ:3.5φ)
※SP-16B(黒色)/SP-16BW(黒色/ロングケーブル)
- SP-29 :耳掛け型イヤホン(プラグ:3.5φ)
※SP-29L(L型プラグ:3.5φ)
- SP-31 :耳掛け型イヤホン(HM-159F専用)

腰にかける

- MB-86 :回転式ベルトクリップ
- MB-97 :ベルトクリップ(ステンレス製)
- MB-98 :ベルトクリップ

肩にかける

- MB-57L :ショルダーストラップ(LC-153/154/164/166用)
- MB-80 :ショルダーストラップ(BP-220N/221/246用)

変換アダプター/アンテナ関係

- AD-52 :イヤホンジャックアダプター(ジャック:3.5φ)
- FA-S73U* :IC-DU55C用防水形短縮アンテナ


株式会社エクセリ 東京都中央区日本橋浜町2-30-1
お問い合わせ総合ダイヤル

■ 安全な充電のために





△ 危険

- 充電器は、必ず弊社指定の別売品をご使用ください。
- 指定(BP-220N/246)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
- 「安全上のご注意」(Pxxii~xxviii)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。


■ 電池の残量表示について

表示部のは、バッテリーパック(BP-220N/246)、アルカリ電池ケース(BP-221)の残量を表示します。

※交換時期になりましたら、バッテリーパックの場合は、充電し、電池の場合は、新しいアルカリ電池と交換してください。


表示	[バッテリーパック]/[アルカリ電池ケース]の状態
	十分に容量があります。
	電池を交換する時期です。(短時間の運用は可能)
	すぐに使えなくなりますので、電池の交換が必要です。
	ほとんど容量がなく、30秒ごとに警告音でお知らせします。

■ 電池の残量警告音について

残量表示が表示になると、残量警告音が「ピーピーピー」と、約30秒おきに繰り返し鳴ります。

警告音が鳴り出したらすぐに充電してください。

また、アルカリ電池ケースの場合は、BP-221に付属の取扱説明書を参考に、新しいアルカリ電池と入れ替えてください。

※表示の状態でご使用をつづけられますと、残量警告音が「ピーピーピー…」と鳴り、5秒後に無線機の電源が自動的に切れます。

IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
0120-880-200

■ バッテリーパックの定格について(別売品)

名称 定格項目	BP-220N	BP-246				
電池の種類	リチウムイオン					
電池の容量	2660mAh min. (2800mAh typ.)	1850mAh min. (1950mAh typ.)				
出力電圧	7.4V					
寸法 (幅×高さ×奥行)	56×91×21.9	56×91×15.2				
	〈条件〉突起物は含まず/〈単位〉mm					
運用時間	パワーセーブ	ON	OFF	ON	OFF	
	モード	アナログ	デジタル	—	アナログ	デジタル
	送信 1W	約23時間	約21時間	約14時間	約13時間	約9時間
	出力 5W	約17時間	約16時間	約12時間	約10時間	約7時間
	〈条件〉送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用					
充電時間	約4時間		約2.5時間			
	〈条件〉BC-161、またはBC-121NAを使用時					

※BP-220N/BP-246は、完全防水構造ではありません。

無線機に装着することで、無線機本体の防水性能に適合します。

※バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■ 急速充電器の定格について(別売品)

- 名称：BC-161卓上急速充電器(AD-115付属)
- 定格入力電圧：AC100V(50/60Hz) ※BC-165入力電圧
- 使用温度範囲：0～40℃
- 重量：約225g
- 寸法：122.5(W)×59.7(H)×95(D)mm

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

※BC-121NAについては、株式会社生世の東京都中央区日本橋浜町2-30-1

お問い合わせ総合ダイヤル

■ 正しい充電のために

バッテリーパックを無線機本体に装着した状態で充電するときには、必ず無線機の電源を切ってください。

電源を切らない場合、充電が完了しません。

- お買い上げいただいたときや、約2ヵ月以上充電しなかったときは必ず充電してください。
- バッテリーパックは、使い切らずに継ぎ足し充電ができますので、常に満充電にしてご使用ください。
なお、満充電した直後に再充電しないでください。
- 満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が中レベルを表示するまで使用して、無線機から取りはずした状態で保管してください。
- 極端に高温、または低温の環境下や、バッテリーパックと充電器の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。
充電器は、次の環境でご使用ください。
BC-161(卓上急速充電器) : 0～40℃
BC-121NA(6連急速充電器) : 10～40℃
- バッテリーパックの寿命(充電回数)は、使用するひんどによりますが、約300回です。
指定時間充電しても、数分後に表示部の残量表示が変化する(運用時間が極端に短い)ときは交換時期です。
- 充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがありますので、ときどきお手入れしてください。

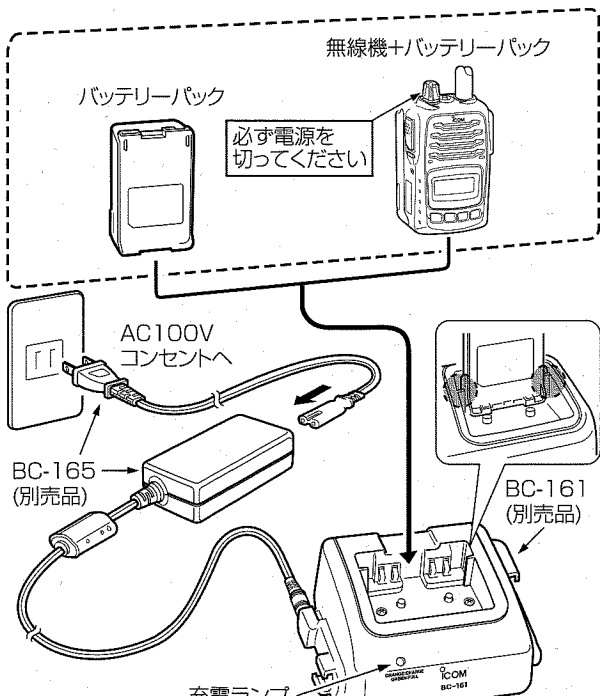
■ BC-161(卓上急速充電器):充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で急速充電できます。

充電ランプは、充電中に橙色、充電完了で緑色に点灯します。

※BC-161の電源には、必ずBC-165をご使用ください。

※赤点滅する場合は、50ページをご参照ください。



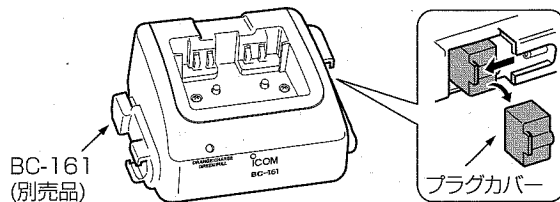
株式会社エクスレ 東京都中央区日本橋浜町2-30-1

お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ BC-161の連結充電について

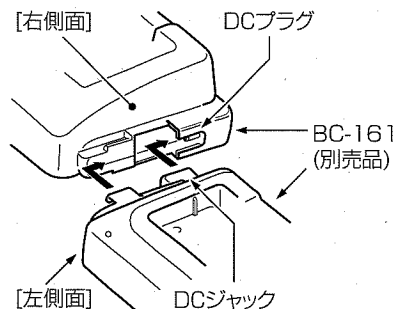
充電器を最大4台まで連結して、同時に充電できます。

① 充電器の右側面に差し込まれているDCプラグカバーを図の方向に取りはずします。



② 右側面にあるDCプラグと、もう1台のBC-161(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

(手順③※次ページへ)



△ 警告

BC-161を連結して充電できるのは、最大4台までです。

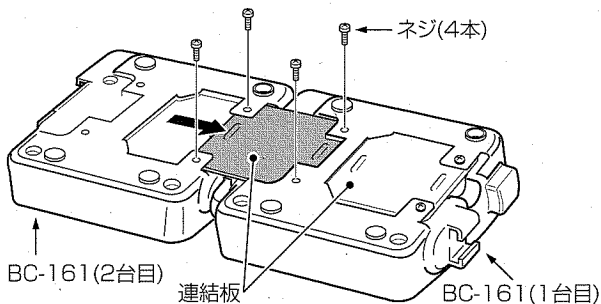
それ以上の台数を連結して充電しないでください。

火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32

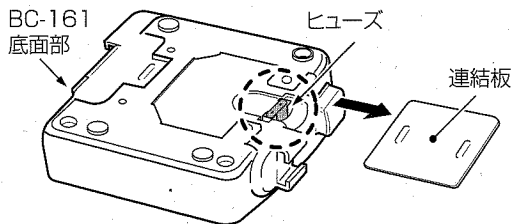
■ BC-161の連結充電について(つづき)

- ③ 底面部(2台目の充電器)にある連結板を固定するネジ(2本)を取りはずして、連結板を1台目の充電器の方に移動させます。取りはずしたネジ(2本)と充電器に付属のネジ(2本)で連結板を固定します。



■ BC-161のヒューズ交換について

ヒューズが切れ、充電ランプが点灯しないときは、原因を取り除いてから、下記のヒューズ(4A/32V)を交換してください。



■ BC-121NA(6連急速充電器):充電のしかた

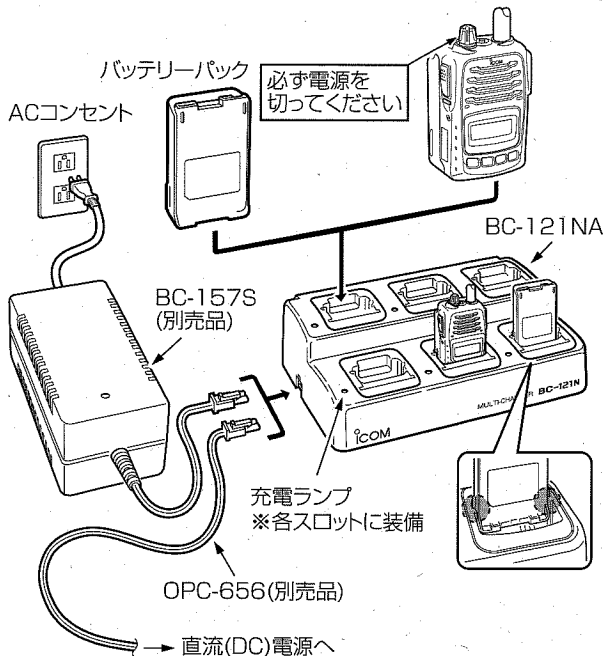
バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で急速充電できます。

充電ランプは、充電中は橙色、充電完了で緑色に点灯します。

※赤色に点滅する場合は、50ページをご参照ください。

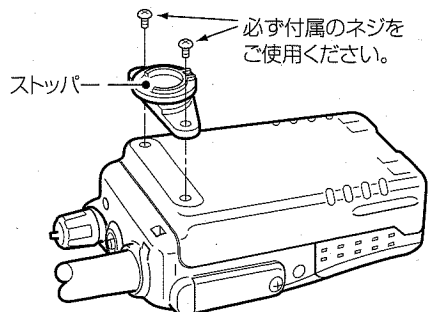
※BC-121NAに付属の取扱説明書と併せてご覧ください。

無線機+バッテリーパック

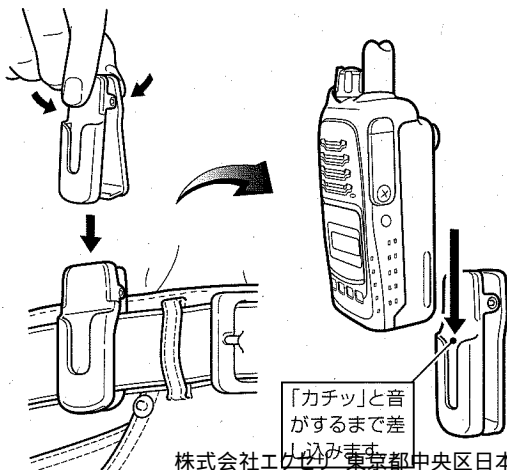


■ MB-86(回転式ベルトクリップ)

〈組み立てかた〉



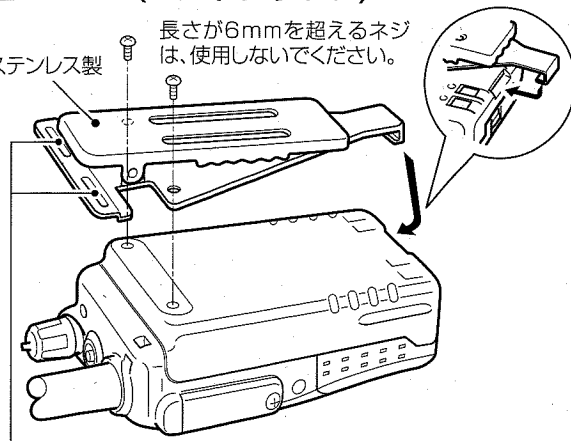
〈無線機の取り付けかた〉



株式会社エーワック 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ MB-97(ベルトクリップ)

ステンレス製
長さが6mmを超えるネジは、使用しないでください。

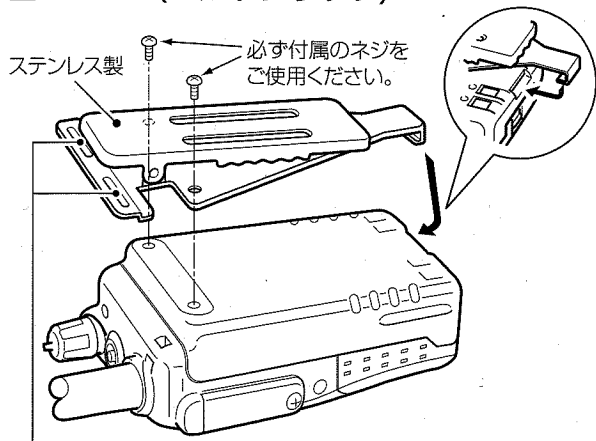


MB-57L(ショルダーストラップ)やMB-80のストラップ部を取り付けできます。

△ 注意

腰などに固定するときに、指を挟まないようご注意ください。

■ MB-97(ベルトクリップ)



MB-57L(ショルダーストラップ)やMB-80のストラップ部を取り付けできます。

【ご注意】

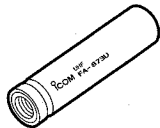
腰などに固定するときに、指を挟まないようご注意ください。

■ FA-S73U(防水形短縮アンテナ)

無線機に取り付けることで、無線機本体の防水性能に適合します。

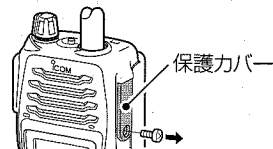
◎外形寸法 : φ12.5×50[mm]

◎使用周波数 : 467MHz帯



■ 別売品を接続するには

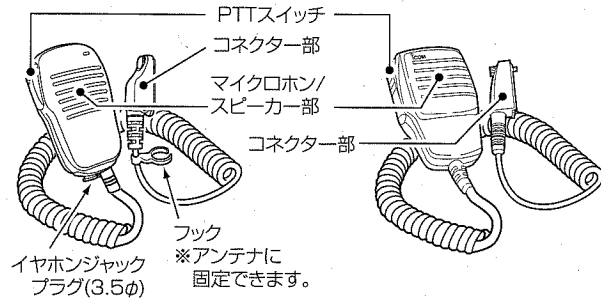
端子保護のため、必要がないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。



- ①市販のドライバーを用意します。
- ②無線機の側面側にある保護カバー固定用のネジ(1本)ははずします。
- ③保護カバーははずします。

■ EM-80(スピーカーマイク)/ HM-186SJ(小型スピーカーマイクロホン)

HM-186SJは、SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lと組み合わせてご使用になれます。

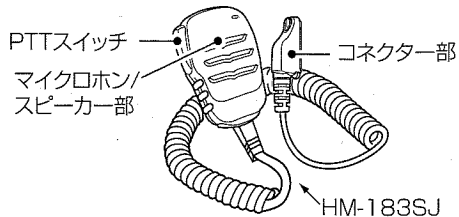


HM-186SJ

EM-80

■ HM-183SJ(防水形スピーカーマイク)

JIS保護等級7(防浸形)保証の防水性能があります。

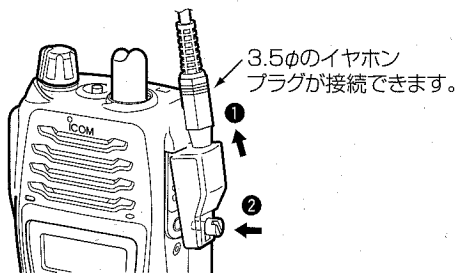


■ AD-52(イヤホンジャックアダプター)

SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lと組み合わせてご使用になれます。

また、市販品のイヤホン(プラグ:3.5φ)と組み合わせてご使用になれます。

※装着しても、イヤホンプラグが接続されるまでは、無線機内蔵のスピーカーが機能します。

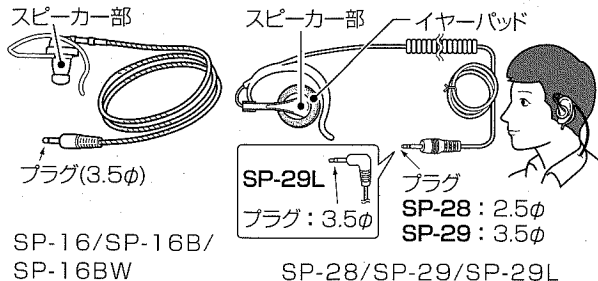


株式会社エクセリ 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ SP-16/SP-16B/SP-16BW/SP-28/SP-29/SP-29L(耳掛け型イヤホン)

HM-109、HM-163には、SP-28を組み合わせてご使用になれます。

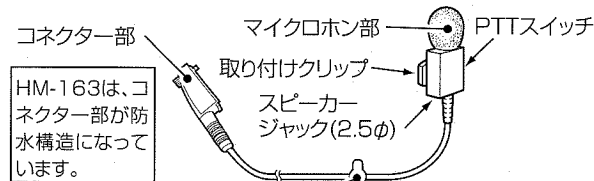
また、AD-52、HM-186SJには、SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lを組み合わせてご使用になれます。
※どちらの耳にも使用できます。



■ HM-109/HM-163

(接話タイピン型マイクロホン)

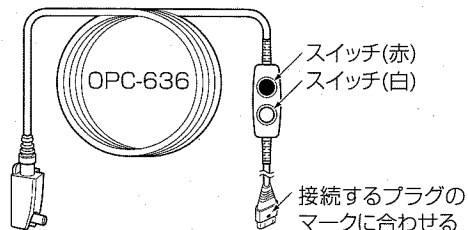
EH-12、EH-13、EH-14、EH-15、SP-28と組み合わせてご使用になれます。



■ OPC-636/OPC-636A*/OPC-637 (マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)

HS-86、HS-88、HS-92、HM-104、HM-104Aを接続してご使用になれます。

★ OPC-636Aは、OPC-636のスイッチ部分が防塵仕様です。



〈OPC-636/OPC-636Aの場合〉

赤色のスイッチは、アンロック(未固定)式です。

※白色のスイッチが出ている(出)とき使用できます。

- : 押ししているあいだけ送話する
- : はなすと送話を中断する

白色のスイッチは、ロック(固定)式です。

※赤色のスイッチは、白色のスイッチが押し込まれていると無効です。

- : 押し込む(入)と送話する
- : 出ている(出)と送話を一時中断する

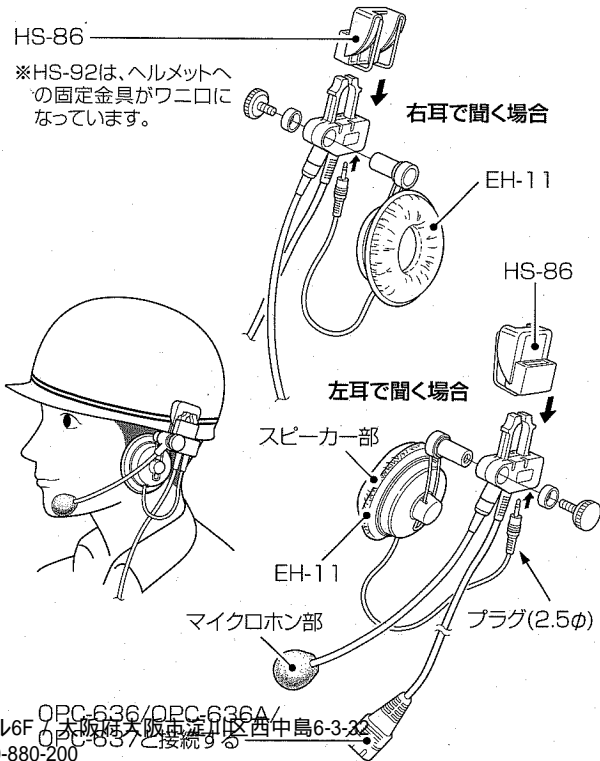
〈OPC-637の場合〉

黒色のスイッチは、アンロック(未固定)式です。

- : 押ししているあいだけ送話する
- : はなすと送話を中断する

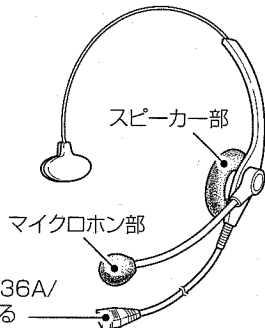
■ HS-86/HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)とEH-11(イヤークリップ型スピーカー)の組み立て

OPC-636、OPC-636A、OPC-637および、EH-11、EH-12、EH-13、EH-14、EH-15と組み合わせてご使用になれます。



■ HS-88(ヘッドセット)

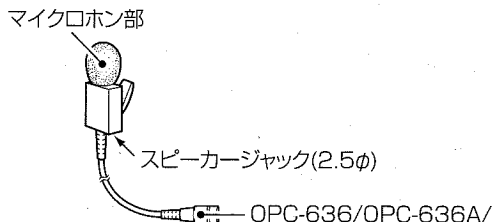
OPC-636、OPC-636A、OPC-637に接続してご使用になれます。



■ HM-104/HM-104A(単一指向性/無指向性タイピン型マイクロホン)

OPC-636、OPC-636A、OPC-637に接続してご使用になれます。

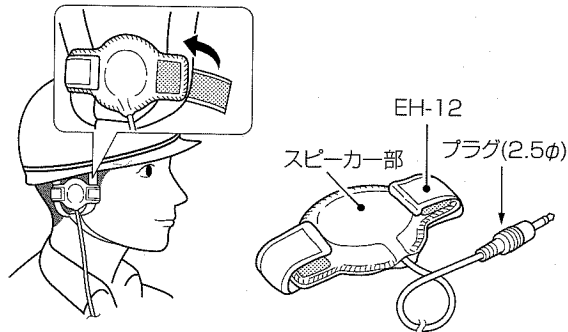
スピーカージャックには、EH-12、EH-13、EH-14、EH-15が必要です。



株式会社OPC 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)

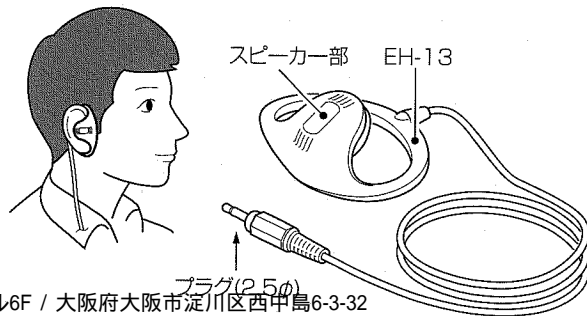
HS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163と組み合わせてご使用になれます。



■ EH-13(耳掛け型イヤホン)

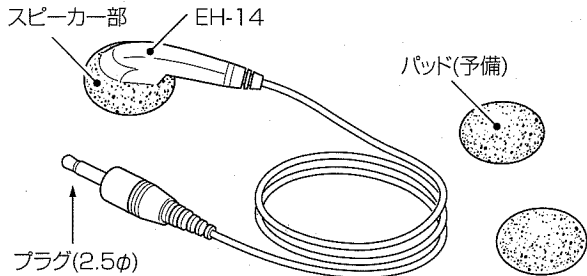
HS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163と組み合わせてご使用になれます。

※どちらの耳にも使用できます。



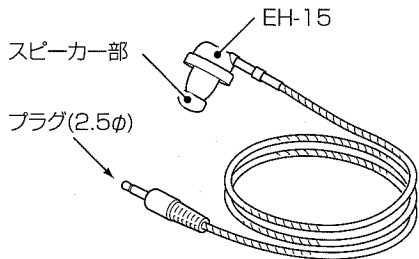
■ EH-14(オープンエア型イヤホン)

HS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163と組み合わせてご使用になれます。



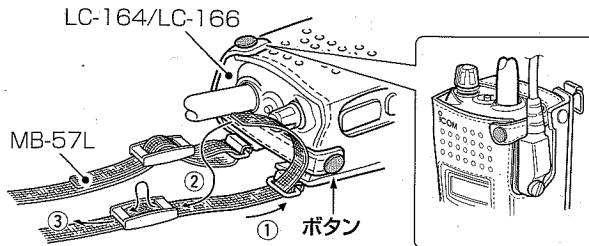
■ EH-15(イヤホン)

HS-86、HS-92、HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163と組み合わせてご使用になれます。



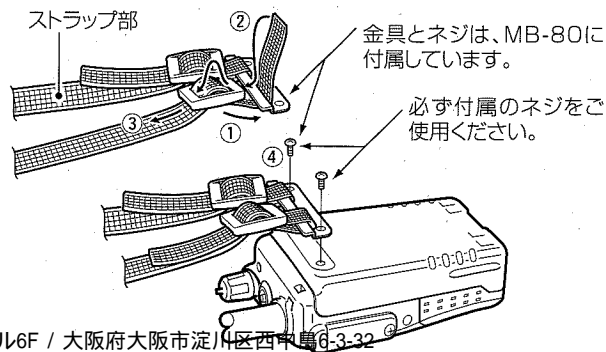
■ MB-57L(ショルダーストラップ)の取り付け

図①～③の順に取り付けます。
LC-153、LC-154、LC-164、LC-166と組み合わせてご使用になれます。



■ MB-80(ショルダーストラップ)の取り付け

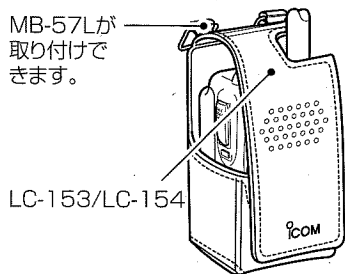
図①～④の順に取り付けます。
ストラップ部(MB-57L)は、LC-153、LC-154、LC-164、LC-166と組み合わせてご使用になれます。



■ LC-153/LC-154

(ハードケースS/ハードケースL)

BP-246にはLC-153、BP-220N/221にはLC-154と組み合わせさせていただきます。

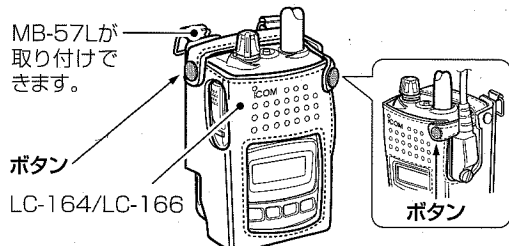


■ LC-164/LC-166

(ハードケースS/ハードケースL)

BP-246にはLC-164、BP-220N/221にはLC-166と組み合わせさせていただきます。

※BC-161をご使用になると、装着した状態で充電できます。



株式会社エクセル 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル 0120-880-200

■ 日常の保守と点検について

- ふだんのお手入れは、乾いたやわらかい布をご使用ください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少し含ませてふいてください。
- また、バッテリーパック(BP-220N/BP-246)やアルカリ電池ケース(BP-221)を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- シンナーやベンジンなどは、絶対に使用しないでください。
- 無線機本体、バッテリーパック、充電器(BC-161、BC-121NA)、アルカリ電池ケースの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
- 各端子は、乾いたやわらかい布などで定期的にお手入れしてください。
- 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
- また、アルカリ電池ケース、またはバッテリーパック等がしっかりと装着されているか点検してください。
- 定期的に決まった位置の相手局と通話して、交信状態に変化がないかを調べてください。
- 音量が最小に調整されていないか、表示部の音量表示を確認してください。

■ 防水性能維持の定期点検と保守について

本製品は、JIS保護等級7(防浸形)を保証(ご購入より1年間)している無線機です。

この防水性能を維持するためにも、定期点検(年1回)の実施をおすすめします。

また、防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。

定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

弊社各営業所へのお問い合わせ先については、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ(<http://www.icom.co.jp>)をご覧ください。

■ 故障かな?と思ったら

下記のような現象は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

〈現象〉[電源/音量]ツマミを回しても電源が入らない

〈原因1〉電池をアルカリ電池ケース(BP-221)に入れるとき、極性を間違えている

処置:極性を確認して、アルカリ電池を入れなおす

〈原因2〉バッテリーパック(BP-220N/BP-246)、またはアルカリ電池ケースの接触不良

処置:アルカリ電池ケースの電池端子またはバッテリーパックの充電端子を清掃する

〈原因3〉バッテリーパック、またはアルカリ電池の消耗

処置:バッテリーパックの場合は充電し、電池の場合は新しいアルカリ電池と交換する

〈原因4〉バッテリーパックの場合、過放電保護回路が動作している

処置:無線機からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度装着して電源を入れる

株式会社イコム 東京都中央区日本橋浜町2-30-1

お問い合わせ総ダイヤル

〈現象〉表示部の表示が変化しない

〈原因〉ロック機能が動作している

処置:ロック機能を解除する(☎P18)

〈現象〉スピーカーやイヤホンから音が聞こえない

〈原因〉音量が最小に調整されている

処置:無線機本体の「音量」を確認する(☎P7)

〈現象〉充電中に充電器のランプが赤色点滅になる

〈原因〉無線機の電源を入れた状態で充電している

処置:無線機の電源を切った状態で充電する

※現象が変わらない場合は、バッテリーパックの故障または寿命ですので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

〈現象〉充電が完了(充電器のランプが緑色に点灯)しない

〈原因〉無線機の電源を入れた状態で充電している

処置:無線機の電源を切った状態で充電する

〈現象〉交信できない(応答がない)

〈原因1〉相手局と距離がはなれすぎている

処置:場所を移動してから交信してみる

〈原因2〉相手局が不在、または電源を切っている

処置:相手局の状態を確認する

〈原因3〉相手局と「通話チャンネル」が合っていない

処置:相手局と同じにする。さらに個別呼び出し機能で使用の場合は、相手局の個別番号を選択する

■ 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼されるとき

「■ 故障かな?と思ったら」(P49~P50)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先:アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00~17:00)

電子メール:support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ:<http://www.icom.co.jp/>

弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙

の「サービス受付窓口一覧」または弊社ホームページ(<http://www.icom.co.jp/>)をご覧ください。

お問い合わせ総合ダイヤル

IKビル6F / 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32

0120-880-200